

戦後、第15軍司令朱田口中将は生還し、老衰で死去したが、その墓石は度々ひっくり返される事があったようです。

生還した元兵士達は、戦友会で牟田口中将が話題になれば居並ぶ全員が烈火の如く怒り出し、宮崎旅団長の事が話題になると途端に全員が和やかになった、とのこと。

吉田所長、宮崎将軍、時代も職務も全く異なりだが、何故か重ねて考えてしまいました。この吉田所長の人徳と統率力をもって絶対に収束すると確信しています。

Q：もし仮にアメリカ国内で福島第一原発のような原発事故が起きた場合、対応する組織はあるのでしょうか？



A：アメリカ合衆国原子力規制委員会（Nuclear Regulatory Commission、NRC）はアメリカ合衆国政府の独立機関の一つであり、合衆国内における原子力安全に関する監督業務（原子力規制）を担当する。

NRCの規制業務は3つの主要な分野をカバーする。

- * 原子炉：発電用、研究用、開発のための試作品、試験用、訓練用の商用原子炉
- * 各物質：医学、工業、学術のための各施設、及び燃料製造施設における各物質の利用
- * 核廃棄物：核物質及び核廃棄物の輸送、貯蔵、廃棄 及び 各施設の廃棄

NRC組織は本部（メリランド州 ロックビル市）全米4つの地区に分け、それぞれ地方局を置き、104基の発電用原子炉と36基の非発電用原子炉の運転を監督している。



その業務内容

- * 各発電用原子炉には監督官が常駐し、（Gregory B. Jnczko 委員長）毎日の運転状況をモニタリングする。
- * 様々なスペシャリストから構成される多数の特別監査チームが、各サイトから監査を行う。
- * 内部情報通報者からの通報は本部規制局の申し立て調査部門により調査を行う。

NRC全職員4211人（2010年10月現在）

NRCの委員はアメリカ合衆国大統領によって指名され、アメリカ合衆国上院の同意に基づいて任期5年、委員5名からなる。

5名のうち、1名は大統領から委員長及び委員会の公的スポークスマンとして任命される。

現在の委員長はグレゴリー・ヤッコ（Gregory B. Jnczko）氏、2005年1月21日ブッシュ大統領によって選任されたが、2009年5月13日オバマ大統領によって再び選任された。（大統領専権事項）

我国の保安院を連想するが、その権限は絶大で、もし国内で原発事故が起きた場合、その対応の権限は鎮圧を含めて全て委員長に委ねられる。

ヤッコ委員長は素粒子物理学者で、原子力に関しては専門家であり、その委員長を補佐するのがエネルギー長官であるチュウ長官、この人はノーベル物理学賞、受賞の人物、